

大洗一中学校だより 輝け!

平成29年 4月28日(金)

大洗一中学校だより NO. 4

大洗町立第一中学校 267-5288

□「その一言が、とっとうれしいのです。」声をかけてくれた3年生に感動、感謝!

4月18日(火)の放課後、武道場の周りの草取りをしていたとき、下校しようとしていた3年生の川上郡摩さんが「手伝います。」と言って、かばんを置いて一緒に草取りを手伝ってくれたのです。「その一言」に心がとっとうれしくなり、うれしさで一杯でした。彼の優しさと心遣いに感動、そして感謝です。その後、サッカー部の練習に向かおうとしていた3年福島隆斗さん、根本侑哉さん、水谷昂輝さんが、「僕たちも手伝います。」と声をかけてくれたのです。うれしくてありがたかったのですが、練習に行く途中だったので「ありがとう、その気持ちだけで充分です。頑張って練習やって」と送り出しました。「手伝います。」その一言がとっとうれしいんです。その一言、その気持ちだけで充分です。本当にありがとうございました。

□3年生にとって最後の晴れ舞台、「東茨城地区総合体育大会」に向けて一生懸命!

3年生にとっては最後の晴れ舞台となる「東茨城地区総合体育大会」が、6月21日(水)、22日(木)23日(金)に行われます。各部とも、新入部員も加わり、それぞれの目標達成に向けて一生懸命練習に励んでいます。勿論、美術部、パソコン部、吹奏楽部も頑張っています。顧問と共に、全職員で応援していきます。保護者の皆様にも、是非とも、子どもたちの頑張りに、励ましと熱い声援を送っていただければと思います。本番で最大限の力が発揮できるよう、特に健康面、安全面には細心の注意を払ってまいります。心身共にベストの状態でご協力よろしくお願いたします。

夢に向かって走り続けます!



□「朝の全校読書」で落ち着いた雰囲気の中で1日のスタートを!



「落ち着いた雰囲気の中で学校生活のスタート」、「読書の楽しさと学力の向上」、「読書の時間確保と本に触れる機会の拡充」をねらいに、毎朝、全校読書を行っています。8時10分から8時20分の10分間、「毎日・みんなで・好きな本(勿論、漫画や雑誌、写真集等は除きます)を・ひたすら読む」を合い言葉に、各学級とも、集中して読書に取り組んでいます。



年間15冊(町教育長賞)を目指しています。年間30冊以上で県教育長賞が、中学校3年間に100冊以上で町長賞、150冊以上で県知事賞が贈られます。県が推進する「みんなにすすみたい一冊の本推進事業」への取組と併せ、国語力の向上と豊かな心の育成に努めます。ご家庭でも、夕食時に読書の話に花を咲かせていただければと思います。「わが子にすすみたい一冊の本」を是非とも、お子様に紹介してあげてください。

★知っていますか、「こどもの読書週間」4月23日～5月12日

1959年(昭和34年)にはじまった「こどもの読書週間」。第1回は、日本書籍出版協会児童書部会が中心となって開催した「こども読書週間」(4月27日～5月10日)です。この年は、ポスターではなくしおりを作成し、東京都内の書店やデパートで配布したと記録されています。1960年の第2回より、読書推進運動協議会が主催団体となり、名称を「こどもの読書週間」、期間を5月1日～14日(こどもの日を含む2週間)と決めました。

よく、『こどもの読書週間』の『こども』はなぜ、『子ども』ではないのですか?との問い合わせがあるそうですが、「こどもの日」に名称をあわせたからだそうです。

「こどもの読書週間」は2000年の「子ども読書年」を機に、現在の4月23日～5月12日の約3週間に期間を延長しました。4月から5月にかけては、「国際子どもの本の日(4月2日)」「サン・ジョルディの日:本の日(4月23日)」などの記念日・関連イベントも多く、2001年12月に公布・施行の「子ども読書活動推進法」により4月23日が「子ども読書の日」となった影響もあって、「こどもの読書週間」は年々大きな盛りあがりを見せています。